



## ご挨拶

本日は“*A-Winds*52”2017年夏の演奏会にお越し下さり、誠に有難うございます。「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」のお城の麓“DMG MORIやまと郡山城ホール”で皆様方と、こうしてお逢いをする事ができましたことに*A-Winds*一同心より感謝申し上げます。

1999年10月“アンサンブル”という少人数の音楽スタイルの延長上に位置付け“ウィンドオーケストラ”と称し、大人数編成にて遷都1,300年の歴史を誇る、奈良の都に発足しました。同年の秋には、初の舞台“デビュー演奏会”を開催、以後四季折々に開催する、*A-Winds*の定期演奏会も、第52回目を迎えることができました。これもひとえに我々*A-Winds*の活動、そして我々と共に音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

夏の季節に相応しい彩り豊かな音楽を、本日は4人の指揮者にてそれぞれの想いをタクトに乗せて披露致します。

エンディングに披露致します『第六の幸福をもたらす宿』。中国では5つの幸せという教えがあり、富、長寿、健康、徳、そして老齢になり安らかに死ぬこと(孔子編「書経」)。その更に先に有る6つ目の幸せは自分で探すものとして、キリスト教を中国の地に広めるため「第六目の幸福」という宿で働き、伝道活動する戦争中のイギリス女性のヒューマニズムを描いた映画の、演奏会用音楽。

1958年の制作から約60年を経た今も、作品の想いを語り続けられる映画の、音楽を披露することで、*A-Winds*が想う6つ目をこれからも音楽活動を通じて模索し続けていきたいと思えます。

未来へは 挑戦者にものみ 招かれる

*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷昌克

\*

本日はお忙しい中、“*A-Winds*52”2017年夏の演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

さて、今回の演奏会は「アジアンテイストな吹奏楽曲」をテーマに、アジアのどこかに由来する吹奏楽曲をお送りいたします。

第1部は、邦人作曲家による2017年度吹奏楽コンクール課題曲でのオープニングです。*A-Winds*50記念委嘱作品として高昌帥氏によって作曲された『Chirche for Wind Orchestra』は、韓国民謡のリズム「チルチュ チャルダン」が印象的です。白浜海岸・三段壁をイメージして作曲された『SEA OF WISDOM ~知恵を持つ海~』では、夏らしくカモメの鳴き声を思わせるような楽器の音も聞こえてきます。

第2部オープニングの『吹奏楽のための綺想曲 じゅげむ』は、古典落語「寿限無」の言葉遊びのおもしろさを音楽リズムで表現しています。『THE SEVENTH NIGHT OF JULY』は、中国伝来の七夕伝説を題材とした夏に相応しいロマンティックな曲です。中国で宣教師として努力する女性の物語が題材となっている『第六の幸福をもたらす宿』は、ダイナミックな力強さや繊細な美しさで溢れています。

初夏のひととき、*A-Winds*での音楽の旅をお楽しみいただけましたら幸いです。

末筆になりましたが、本公演開催にあたり御支援・御後援賜りました各関係者の方々に実行委員を代表いたしまして深く御礼申し上げます。

“*A-Winds*52”2017年夏の演奏会 実行委員長 八木真木



## *A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Piccolo 佐藤 由加里	Tenor Saxophone 初岡 和樹	Tuba 杉浦 小道 白崎 太一 堤 正治郎 ♪
Flute 佐藤 司 ☆ 魚谷 陽子 ☆ 小谷 愛奈 大塚 由起	Baritone Saxophone 八木 理	Contra bass 佐藤 良一
Oboe 桶谷 牧子 ☆ 松井 志穂 ☆	Horn 久野 耕三 大田 雅美 ☆ 佐伯 直人 富川 陽太 ☆ 西島 華奈子	Percussion 久保 寛美 松嶋 春香 梶本 雅子 森田 晶 浦野 佳美 川本 理恵 ♪ 寺西 剛 ♪
B♭ Clarinet 竹村 明恵 近藤 晴美(休団) 山崎 麻里子 ☆ 米田 彩乃 山上 紗季 森 望 ☆	Trumpet 魚谷 昌克 表 恭子 竹腰 綾香 谷田 弥生 山本 洋介 大西 伸幸	Piano 八木 真木 ☆
Alto Clarinet 大西 晴己 ☆	Trombone 小泉 文浩 田中 由美 木下 真由美 徳田 篤彦 ♪	Stage Manager 西木 晃世 ♪
Bass Clarinet 菅野 真奈	Euphonium 尾登 勇介 ☆ 池内 砂織	Announcer 境 貴子 ♪
Bassoon 上田 良子	Alto Saxophone 島田 博一 三宅 利幸	団員合計 45名 ♪ = エキストラ ☆ = AW52実行委員

## *A-Winds*メンバー募集

- 募集パート
- ・ Oboe \_\_\_\_\_ 1名  
※イングリッシュホルンもお持ちの方、まずはご相談ください!!
- ・ E♭ Clarinet \_\_\_\_\_ 1名
- ・ B♭ Clarinet \_\_\_\_\_ 3名
- ・ Bass Clarinet \_\_\_\_\_ 1名
- ・ Bassoon \_\_\_\_\_ 1名
- ・ Horn \_\_\_\_\_ 1名
- ・ Trombone \_\_\_\_\_ 1名
- ・ Tuba \_\_\_\_\_ 2名
- ・ Contra Bass \_\_\_\_\_ 1名
- ・ Stage Manager \_\_\_\_\_ 1名

- *A-Winds*の活動趣旨(ウィンドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
- ご自分で楽器を準備できる方
- 18歳以上の方
- 全ての活動に賛同頂ける方
- 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は <e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



2017年6月18日(日) 13:30開場/14:00開演

DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・奈良県吹奏楽連盟



## プログラム & プログラムノート

### 第1部

#### 2017年度 全日本吹奏楽コンクール課題曲 ―――― 指揮：表 恭子 マーチ「春風の通り道」

### March “Path of the Winds in the Spring”

○作曲：西山 知宏／Tomohiro Nishiyama

○出版：All Japan Band Association

表題の表す通り、春の陽気と、吹き抜ける爽やかで心地良い風、そんな情景を感じるこのできるマーチ(行進曲)です。冒頭木管楽器によって奏でられるメロディーが一貫して曲の中に登場します。

作曲者は中学生の時に吹奏楽部でトランペットと出会い、社会人となった現在でも自らが中心となって立ち上げた吹奏楽団の団長兼演奏者として仕事の傍ら音楽活動をされているそうです。小編成バンドだったために中学・高校時代はコンクール課題曲に縁がなく、「想い出の課題曲」といったものはなかったそうですが、今年度『春風の通り道』が課題曲に選ばれたことで想い出の一曲ができたそうです。作曲者のエッセイでは、演奏した多くの方にとって、コンクールのよい想い出とともに未永く思い返されるような「想い出の課題曲」になれば嬉しいと書かれています。

#### ウィンドオーケストラのための「チルチェ」――― 指揮：表 恭子 Chirche for Wind Orchestra

○作曲：高 昌帥／Chang Su Koh

○出版：未出版

この「Chirche for Wind Orchestra」は、50回目の定期演奏会となる“*A-Winds 50*”の開催を記念し、当団とは以前より親交の深い高昌帥氏による委嘱した作品です。“*A-Winds 50*”では、作曲者である高昌帥氏ご本人の指揮にて初お披露目を致しました。朝鮮民謡では基本リズムのことをチャンダンと呼び、「Chirche(チルチェ)」はそのチャンダンの中の一つです。「チルチェ」の「チル」とは数字の「7」を意味し、拍の頭を表すことが多いジン(小さな銅鑼のような打楽器)が7回叩かれることから名づけられたと言われているそうです。数多く存在するチャンダンの中でも、2拍子と3拍子が複雑に絡み合う基本リズムを持つ「チルチェ」は、非常に難しいチャンダンのひとつです。そんなチルチェ・チャンダンをもとに作曲されたのが本楽曲です。

高氏からは「A-Windsの団員さんの顔を思い浮かべながら作曲した」と言っていたのだとあり、曲の編成、構成が*A-Winds*にぴったりフィットするように作られており、どの楽器も活躍の見せ場があり、それでいて、エキサイティングな曲に仕上がっています。この曲の魅力を、余すところなくお客様にお届けできればと思います。

#### SEA OF WISDOM ―――― 指揮：佐藤 司 ～知恵を持つ海～

○作曲：清水 大輔／Daisuke Shimizu

○出版：Foster Music

この作品は、2007年に和歌山県の岩出第二中学校の委嘱によって書かれました。総譜の楽曲解説によると、「海」を題材にしてほしいとの要望から、実際に和歌山の海を見て、特に印象に残った「白浜海岸」と「三段壁(さんだんべき)」を

イメージし、さらに作曲者の思い描く「海」を織り交ぜて書いたそうです。

作曲者が現地で見た海は、今まで見てきた海の中でも1番の美しさで、そしてその美しさと壮大さは、まるで人間に大きな力(知恵)を与えてくれているような気がしてならなかったそうです。

「朝の海」をイメージした静かな情景から始まり、カモメの鳴き声(クラリネットのマウスピースを使って表現)が響くなか、中低音から次第に壮大かつ力強いメインテーマが現れます。優しい母なる海を表すアルトサクスのソロを経て、「三段壁」を描いた荒々しい早部では、海の力強さと美しさの2面性を交互に表します。その2つは混ざり合う事なく、8分音符の一打で遮断されたのち、メインテーマが再現され、スネアの厳格なリズムに導かれて「海の持つ力(知恵)」を表現し、曲は最高潮に盛り上がり幕を閉じます。

### 第2部

#### 吹奏楽のための綺想曲「じゅげむ」― 指揮：佐藤 司 “Jugemu” Capriccio for Wind Orchestra

○作曲：足立 正／Tadashi Adachi

○出版：All Japan Band Association

2012年度吹奏楽コンクール課題曲。綺想曲というのは、「気まぐれな曲」という意味の音楽形式の一つです。この曲は題名の通り、落語「寿限無」から着想を得ており、生まれた子供がいつまでも元気で長生きできるようにと考えて、とにかく「長い」ものが良いと、とんでもない名前(じゅげむじゅげむ ごころのすりきれ かいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくうねるところにすむところ やぶらこうじのぶらこうじ ばいばいばいばいぼのしゅーりんがん しゅーりんがんのぐーりんたい ぐーりんたいのぼんぼこびーのぼんぼこなのちょうきゅうめいのちょうすけ)を付けた、という有名な言葉遊びのリズムを「気まぐれ」に用いている曲です。寄席の出囃子の如くリズムカルな打楽器群の演奏から始まり、「じゅげむ、じゅげむ…」という言葉のリズムで進行していきます。

#### THE SEVENTH NIGHT OF JULY ― 指揮：富川 陽太 ～たなばた～

○作曲：酒井 格／Itaru Sakai

○出版：De Haske

酒井格氏の曲の中で、最も人気が高く、演奏される機会の多い作品の一つです。作曲者がまだ高校3年生だった時に作曲した作品ですが、この曲の中には彼が憧れていた数々の作品や、スウェアリンジェン、リード、ジェイガーなどの作曲家の影響が現れています。彼が吹奏楽部に入って最初に聴いた曲はバーンズの名曲『アルヴァマー序曲』であり、そのフレーズなどが多く用いられているようです。曲を聴きながら、思い出のフレーズを探してみるのも面白いかも知れません。

この曲はオランダのDe Haske社から出版され、世界的に知られるようになり、また、多くの団体によって演奏されることになりました。本日、演奏会に来られているお客様の中にも、この曲を演奏されたことのある方が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。冒頭から現れる第一主題は、音階の高揚とともに、気持ちもわくわくするような名旋律で、この曲の中で、形を変えながら何度も登場します。また、この曲の魅力の一つとも言える中間部のアルトサクスとユーフォニアムのデュエットは七夕伝説の中の、織女と牽牛をイメージさせます。感動的なフレーズもロマンチックですが、しかし、どこか悲しげな雰囲気も持ち合わせています。曲の最後は、細かい木管楽器の動きとともに、大きな盛り上がりを見せます。いわゆる、「お約束」ともいえる展開となり、エンディングを迎えるのですが、聴いた後に味わえる爽快な気分は、他の曲にはな

いものだと感じるでしょう。

・吹奏楽の魅力や楽しさを存分に引き出し、聴く人すべてを感動させる名曲です。

#### 第六の幸福をもたらす宿 ―――― 指揮：魚谷 昌克 The Inn of the Sixth Happiness

○作曲：マルコム・アーノルド／Malcolm Arnold

○編曲：瀬尾 宗利／Munetoshi Senoo

○出版：B. Feldman Co., Ltd.

この曲は、『The Inn of the Sixth Happiness(六番目の幸福)』の映画音楽による、全三楽章の管弦楽組曲です。この映画は第二次世界大戦下、日本軍に侵攻される中国の小さな村・カンチェンを舞台に、宣教師として赴任した英国人女性グラディス・エイルウオードが多くの困難に立ち向かっていく実話に基づいています。中国の古典「書経」の中には、「五福」(長寿、富貴、健康、徳行、天寿)の記述があり、劇中では、この五つの幸福の他に、その人だけが見つけることができる「第六の幸福」があるとされています。

第一楽章の「ロンドン・プレリュード」は中国への布教活動に意欲を燃やすグラディスの決意と、内に秘めた深い慈愛を表す楽章で、ホルンを中心にグラディスの強さを表すテーマを奏でます。

第二楽章の「ロマンティック・インタリユード」は、グラディスと、中国軍将校リン・ナンが次第に惹かれ合う場面で、甘美なメロディにより、愛のテーマを奏でます。

第三楽章「ハッピー・エンディング」は、パワフルなオープニングから始まり、西安を目指して山道を進むグラディス一行に立ちはだかる困難、そして、「ハッピー・エンディング」に向けた喜びの場面を描いています。

アーノルドの非常に美しい旋律とともに、映画のスケールの大きさを物語ってくれる大曲です。

#### “*A-Winds 53*” 2017年 冬の演奏会のご案内

2017年12月17日(日) 14:00開演  
DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

“*A-Winds 53*” 2017年 冬の演奏会では様々なジャンルの曲を吹奏楽の演奏でお届けします。

吹奏楽のために作曲されたオリジナル曲「音楽祭のプレリュード」、金管バンドのために作曲した曲を作曲者自らが吹奏楽用にアレンジした「オリエント急行」、オーケストラの原曲を吹奏楽用にアレンジしたバレエ音楽「シバの女王ベルキス」など、元のジャンルは違いますが、吹奏楽でも人気のプログラムをご用意して、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

“*A-Winds 53*” 2017年 冬の演奏会 実行委員長 谷田 弥生・田中 由美

#### 募金のお礼とご報告

*A-Winds*では演奏会開催ごとに義援金を募っており、演奏会終了後に日本赤十字社に全額納めております。

前回の演奏会 *A-Winds 51*では10,781円の募金をお預かりし、内5,391円を「東日本大震災義援金」、5390円を「熊本義援金」受付口座に納めました。

また、募金を開始した *A-Winds 38*から *A-Winds 51*までで総額115,945円の募金をお預かりし、各受付口座に納めております。

募金にご協力いただいた多くの方々に、団員一同厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。